

令和2年1月番組審議会・議事録

開催日時 令和2年1月23日（木）17:00-18:00

開催場所 佐賀シティビジョン 会議室

出席委員（敬称略）

委員長 福田伸裕	赤松校区社会福祉協議会会長
田中丸雅夫	(株)佐賀玉屋代表取締役社長
西村龍一郎	佐賀市情報公開審査会・佐賀市個人情報保護審査会委員
松岡実信	(株)ネットコムBB代表取締役社長
中村隆	(株)唐津ケーブルテレビジョン代表取締役社長
草場真智子	佐賀市男女共同参画ネットワーク会長
中尾朱実	佐賀ビッグフット副代表
草場栄美	草場整形外科理事
松尾智子	画家「濱智子」

社側出席者

増本武	代表取締役社長
下平憲太郎	営業部次長
江口義弘	総務部次長
中尾剛	営業部制作課課長
最所美由紀	営業部制作課アナウンス係課長

佐賀市出席者

筒井竜二	佐賀市役所 地域振興部 地域政策課課長
豆田伸介	佐賀市役所 地域振興部 地域政策課副課長
徳久 葵	佐賀市役所 地域振興部 地域政策課 主事

議事

1. 冒頭社長より、弊社コミュニティチャンネルはこれまで「子供たちの成長をずーっと放送します」をテーマに子供たちのスポーツを中心に番組制作してきましたが、今年は文化面にもスポットを当て、ぶんぶんワイドのキッズアナウンサー体験や高校文化部を紹介する「YELL を送ろう」を放送するなど、新しい取り組みも始めています。もう一つ強化したいのが「くらしの安心・防災に役立つケーブルテレビ」をテーマにした防災面です。視聴者の要望から、いつでも河川画像が見られて、防災無線の音声も聴くことができる新しいデータ放送の構築を行い、ハード面の整備は行いました。しかし、昨年佐賀豪雨の際に被害状況を即座にお伝えできなかったという反省がありますので、ソフト面として、地域防災サポーター制度の発足や大雨被害を想定した防災訓練などを行い、

今後の緊急時の災害放送に向けて今備えています。また今後はスマホの河川カメラ画像も佐賀県内の河川を増やし、加えて道路渋滞情報や冠水状況がわかる道路カメラも設置していきたい。本日は新しい取り組みなどをご紹介いたしますので、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただければと思っております、と挨拶。

出席された委員の皆様をご紹介させていただいた後、制作課中尾より当社自主制作番組の取り組みを紹介し、番組を視聴していただきました。

2. 番組視聴及び取り組み紹介

- ・ 夏休みキッズアナウンサー企画
- ・ くじ引きで行先決定！カメラで街なかぶらりリニューアル
- ・ 小学校、高校の音楽会放送を強化「YELLを送ろう」放送
- ・ 初の全国配信！バルーンフェスタ生中継 ディズニーパレード総力取材
- ・ ニューイヤー駅伝予選会を密着！ 戸上電機製作所陸上競技部 特別編
- ・ ドローン活用（空カラカメラ・豪雨災害）
- ・ ぶんぶんテレビ地域防災サポーター制度発足
- ・ 新データ放送&スマホアプリ サービス開始

委員より出された意見（要約）

- ・ 災害発生後の報道は行政に協力していただいて罹災証明書の書き方などを紹介してもらえば役に立つのでは。子供たちの過去の映像はデータベース化してアーカイブ映像として将来的に有料視聴サービスなどを検討されてみては。（西村委員）
- ・ 前回の豪雨では今開いているスーパーの食品情報があればいいと思いました。（田中丸委員）
- ・ 子供たちのアーカイブ映像やドローン映像では肖像権などに気を付けないといけない。日常の撮影時にアーカイブを踏まえた承諾を得るなど工夫が必要。（中村委員）
- ・ 1年生の撮影などはどこまで許可を取られていますか？（中尾委員）
→すべて学校に確認して許可を得た学校だけ撮影しています。撮影後の映像確認を行う場合もあります。（社長増本）
- ・ 「街なかぶらり」の行き先決めはくじではなく、撮影日と場所の事前告知をしてくれたほうが良い。また放送予定も月間の予定をHPなど記載していただくと、事前に見たい番組を確認して予約などできる（松岡委員）
- ・ 地元の放送は気になるので予定が事前に分かると予約ができる。（草場真委員）
- ・ 文化部の紹介では佐賀新聞で題字を高校生が書いているように、書道部や美術部の生徒が書いたものを紹介する番組などは良いのでは。（草場栄委員）
- ・ ドローン映像で流れていたBGMの選曲が良かった。（草場真委員）
- ・ 番組BGMは今の若い人にとっては古い新しいは関係なく、古い曲でも検索で知識がある。東与賀映像での山下達郎の曲は私は好きです。（松尾委員）
- ・ 中学校や高校の職場体験を特集した番組も良いのでは。生徒たちは1か所しか体験できない

が、テレビでいろんな職場の様子が見られるようになる。(中尾委員)

- ・ 撮影や放送では肖像権にも気を付けないといけないが、そこにとらわれ過ぎると何もできなくなる。様々な情報を発信しながらも、撮影承諾など要所ではしっかりしていただき、これからも幅広く放送をしてほしい。ここ数年でぶんぶんテレビの防災面は一気に進んだと実感しています。今後も引き続き頑張っていたいただければと思います。(福田委員長)

以上、コミュニティチャンネルに関する活発なご意見をいただき有難うございました。
今後もぶんぶんテレビでは充実した自主制作番組作りに取り組んでまいります。

以上
文責：中尾